



門中 9特
652
卷 2止

類證辨異全九集卷之四

水脹滿門

夫陰陽升降セス胃中ニラサカリ結シ三焦相混シ二便
通セス俄ニ脹滿ノ脉沈伏スルヲハ三焦ノ脹トナス而モ
又虚スシハ皮ヒキハリ堅ク痛クスノ氣ノ道フクシタル也是
ハ氣ヲ升降シ脾ヲ濕補スヘシ實スシハ内ニ宿食ヲ挾シ邪
内ニ實シラテミルニ堅ク痛ム是ハ氣ヲ養ヒ實シ下スヘ
シ久病ノ後脹滿出來スルハ脾土ノヤフシ也治シ難シ
寒暑食ノ三脹 冬寒ニ侵シ胃中滿塞カリ脉沈細ナ
ルヲ寒脹トナス寒邪ヲ温解スヘシ夏熱ニヤフラシ胃
腹堅クミチシ脉虚弱ナルヲ暑脹トナス熱ヲ醒シ温ヲ
除ヘシ飲食ニ脾ヲヤフリ脾虚ノ尅化スルヲ遲ノ停



五

五

滯スルハ即脹トナル味浮滑也停滯ヲ消導入へ之
 氣血二虚ノ分別 朝ニハ緩ク暮ニ急ナルハ血虚スル
 ノ謂也凶物湯ヲ可用 暮ニハ緩ク朝ニ急ナルハ氣
 虚スルノ謂也ハ味順氣散佳也 終日ニ急ナルハ
 氣血トモニ虚スルノ謂也十全大補湯ヲ用へ之
 脹之治例 肺金ヲ養テ以テ木ヲ制シ脾ニ賊邪ノウシ
 イナカラシメ腎水ヲ益メ以テ火ヲ制シ肺ニ賊邪ノウ
 レイナカラシムヘシ厚味ヲタチ吹物コエワサヲ忌
 血分ニアラハ血ヲ通スハ氣分ニアラハ氣ヲメクラセ
 積ノ脹ハ積ヲ治シ脹ヲ治シ脚氣ノ脹ハ脚氣ヨリ治ヨ
 水脹ハ水腫ニ隨テ治ス 婦人ノ脹ハ血膨ニ隨治
 實滿ノ脹ハクダスヘシ 虚脹ハクキノフヘシ

寒脹ナラハアタメヨ 熱脹ナラハスハシフスヘシ
 結スル者ハ散スヘシ 留ヤル者ハメクラスヘシ

味之逆順 浮六ハ順 虚小ハ逆

脹滿之治方

紫蘇子湯 憂思脾ヲヤフリ腹脹喘悶之腸中鳴テ二便

シフリ脉虚緊ニシテ治ス 蘇子兩 大腹皮
 草菓 半夏 厚朴 木香 陳皮 木通 白木
 枳實 人參 甘草各半 右坐薑棗ヲ入煎ソ服ス

消脹丸 諸ノ脹滿ヲ治ス 木香 大黃 茯苓 厚朴

澤瀉各一 黑牽牛 滑石各六

右末之丸ノ食前ニ薑湯ニテ用へ之

厚朴湯 腹滿發熱ニ陽盛ニシテ外熱ニ陰虚ニシテ内熱ス

ルヲ治ス脉必ス浮數也浮ハ虚トナシ數ハ熱トラス
厚朴三錢 大黃二錢 桂心五分 枳實半錢 芫草一錢
右剉薑棗ヲ入煎ス嘔吐ハ半夏ヲ加ヨ利セハ大黃去
木通飲脇肋サシ痛ミ脹シ小便赤クシフリ大便結シ
或ハ浮腫スルヲ治ス 木通 陳皮 紫蘇莖
甘草多 燈心 右等分剉薑棗ヲ入煎ノ服ス
丹房カ奇術腫脹ヲ治ス藥ヲノマスノ水ヲサル 衍義
ニ云 輕粉錢 巴豆肉去油 生硫黃一錢
右同シ研テ餅トナシ先新キ綿一片ヲ臍ノ上ニシキ
彼ノ藥餅ヲ臍ニアテ其上ヲ綃ニテユフヘシ人ノ三五
里ヲ行間置テ必ス惡水ヲ瀉下ス三度カ五度計ニ
テ藥ヲ取去シ其後温粥ノ食ヲ補ヘシ又煩痛ハ者ナ

ラハ日ヲ隔テ又ホク去ヘシ一餅ニテ二世人ヲモ治ヘシ
氣ノ脹タルヲ治スルニ陳皮ノ粉ヲ白湯ニテ用ヨ或ハ
丸ノモ用ヨ又紫蘇ノ粉ヲ食ニマセテ片ヨ氣必散ス
心痛門
厥真ニ痛ノ辨厥心痛ハ寒邪心包絡ニ客タリ 眞
心痛ハ寒邪甚シフノ其君セシヤフル必手足青シ
チ膝ヲ過ルハ朝ニ發ノ夕ニ死シ夕ニ發ノ朝ニ死ス
九種ノ心痛 蟲痛 疰痛 風痛 悸痛 食痛 飲痛
寒痛 熱痛 來去痛
新夕ノ異治 身寒ヲウテ口ニ寒冷ヲ食ノ病ヲ得タラハ
當座ナラハ温散温利スヘシ病ヲ得テ夕ニナシハ鬱ヲ
ナス鬱スル時ハ蒸熱ス若此時温散温利ヲ行ナハ

トスルハ薪ノタヒテ火ノツタルカ如シ故ニ先賢多ク山
梔子ヲ以テ熱藥ノ導キトナス

蟲痛之外證 面白ク班ニ唇紅色ニシヨク食スルハ蟲
ノイタム也苦練根ノ類ノ用ヘシ

虛證之辨 物ニテオサヘテイタミ即止ハ虛ヲサレハサム
也二陳湯ニ炒乾薑ヲ加テ用ヨ

治例 熱スル者ハサマセ 寒スル者ハ温メヨ 風邪ナラ
ハ散スヘシ 氣血ヲ調順セヨ 水ヲキイ去ヘシ 痰ヲ

去ヘシ人參白朮ノ類ノ不可用氣ヲ補ヘハ彌ヨ甚
脈ノ善惡沈細ナル者ハ生ク浮大弦長ナル者ハ死ス

心痛之治方
七氣湯七情結ニ心腹痛ニ甚レキヲ治ス半夏入參

肉桂 甘草 各等分 右剉薑棗ヲ入煎ソ服ス

加味七氣湯七情病ヲナシ心腹サニ痛ニ或ハ外邪ニ

侵シ痛ムヲ治ス 半夏 三錢 桂心 玄胡索 各一錢半

人參 乳香 甘草 各一錢 右剉薑棗ヲ入煎ニ用ヘシ

妙香散心氣虛シ心ホシ虚煩ノ子ムル事少ノ盜汗テイ

心痛スルヲ治ス氣血ヲマシ神ヲ安ニス 山藥 茯苓

茯神 遠志 黃芪 各一兩 人參 桔梗 甘草 各半兩

唇砂 三錢 麝香 一錢 右細末ノ酒ニテ用ヘシ

玄胡索散俄ニ心痛ノ久愈サルヲ治ス

玄胡索 一兩 甘草 三錢 右剉ミ煎シ服ス

枯痛丸九種ノ心痛ヲ治ス 五靈脂 莪朮 木香

當歸 各半錢 右細末ノ蜜ニテ丸ニ食前ニ陳皮湯ニテ用

生薑枳殼湯中脫氣滯テ心下引痛ムヲ治ス

生薑七錢 枳殼三錢 桂心五錢 右剉煎ノ服スヘシ

香附子散心脾痛ミコラフヘカラサルヲ治ス

良薑 香附子各等分 右末ノ鹽湯ニテ用ヨ婦人

脾血痛ニハ麩ノ糊ニテ丸シ空心ニ温湯ニテ用ヘシ

香茱丸氣實ノ心痛スルヲ治ス 山梔子炒六兩

香附子六錢 吳茱萸四錢 右末ノ丸ニ用ヘシ

心氣疼痛スルヲ治ス 檳榔ヲ煎ノ用ヨ或ハ末ノ白湯

ニテ用ヨ妙ナリ

卒ニ心痛スルヲ治ス 桃仁七枚 水ニテ頓ニ服スヘシ

頭痛門

頭痛頭風ノ分別 頭ヲ痛ヤスル物ハ一邪也但シ新久

去留ノ分別アリ淺ク近キ者ヲ頭痛トス其痛ミ卒ニ

至テ解散シ易ク深ク遠キ者ヲ頭風トス其痛ミ雨風

ニ發リヤスニ作ト止ト常ナラス

厥眞二痛ノ異 嚴用和カ云氣虛ニ風寒ニ侵シ陽經

ニ傳ヘカクシ君テ去ラスナツキニ升リ痛ムヲ厥頭痛ト

云カシラ痛ク頭ノマシ中トツリ底ニ通ツテ甚シク痛ハ

眞頭痛ト云也夕ニ發ノ朝ニ死シ朝ニ發ノ夕ニ死ス

六經ノ治證 大陽ノ頭痛ハ風ヲ惡ム脉浮也川芎

獨活少陽ノ頭痛ハ往來寒熱ノ脉弦也柴胡 陽

明ノ頭痛ハ發熱惡寒ニテ脉浮緩ニシ長ナリ升麻

葛根石膏太陰ノ頭痛ハ痰アリ體重ク腹痛ス脉

沈緩白木半夏少陰ノ頭痛ハ足ヒ工氣逆上ノ脉

沈細也麻黃細辛厥陰ノ頭痛ハ項痛ニ痰涎ヲ吐
キ厥冷脉浮緩 吳茱萸

雜説 血虛ノ頭痛ハ當歸川芎氣虛ノ頭痛ハ人參
黃耆肥人ノ頭痛ハ濕痰也半夏蒼朮 瘦人ノ頭
痛ハ熱也酒製黃芩防風 偏ニ左ノ痛ハ風也荊芥
薄荷右痛ハ痰也白朮半夏橘紅苓ヲ用ヘシ 感
寒ノ頭痛ハ振寒ノ身ヲモシ 氣虛ノ頭痛ハ耳鳴
九竅利セス濕熱ノ頭痛ハ胃ホトク病胃中ニアリ
下虛上實ノ頭痛ハ氣升テ降ラス頂イタム 偏頭ツ
ウト云ハ半分ヒエイタム手足ノ少陽陽明ノ病ナル
脉例 脉浮ナルハ風也滑ナルハ痰也皆除キ易シ
内經ニ云脉中知之者ハ頭痛ス 頭痛ニテ脉短

瀉ナル者ハ死スルナリ

頭痛之治方

川芎散偏頭痛ヲ治ス 甘菊花 石膏 川芎

右等分末メ茶ノウツ清ニテカキタテ、吞ヘシ

小芎辛湯風寒ナツキニ有テ痛ミ目ヲ嘔吐スルニヨシ

川芎 錢三 細辛 白朮 甘草 各二 茶茅一撮

右判生薑ヲ入煎ノ食後ニ服スヘシ

加減川芎散剛盛ニ胃塞カリ鼻塞カリス、ハナ出テ熱

氣升リ攻メ淚イテ、ヨリイテ偏正頭痛スルヲ治ス

川芎 柴胡 各二 細辛 半夏 人參 前胡 防風

芍藥 甘草 各一 薄荷 炒 右判薑ヲ入煎ノ用ヘシ

清空膏偏頭痛正頭痛久ク愈ス熱ノ目痛ヲ治ス

羌活 防風 黃連各一兩 甘草二兩 柴胡七錢 川芎五錢

黃芩三兩半 酒浸炒 右末ノチヤノ上スミニテコ子テロノ内ニ

入テ白湯ニテノミトス痰厥ノ頭痛ナラハ半夏ヲ加ヨ

點頭痛散偏正ノ頭痛ヲ治ス 川芎二兩 香附子四兩

右末ノ食後ニ茶清ニテ用ヘシ

石膏散偏正ノ頭痛マナコタマニツラナリ痛ムヲ治ス

石膏 鼠粘子炒各等分 右末ノ茶清ニテ食後ニ下ス

白芷散頭痛ヲ治ス 黃芩酒浸 白芷各等分

右末ノ茶清ニテタテ、下スヘシ

羌活湯頭痛之マカフラ痛ミ甚シキヲ治ス 羌活

防風錢各二 甘草錢一 黃芩酒浸一錢半 右剉煎ノ服ス

一方ニハ生蘿蔔ノ汁蛤貝ニ一ツ計リ仰卧ノ鼻ノ内

二入ヨ左ヲ痛ハ左ニ入ヨ右ヲ痛ハ右ニ入ヨ左右共

ニ痛ハ左右ノ鼻ニ入ヨ

痛風ニハ九月ニ菊花ヲ取テ枕ニ用ヨ尤良ナリ

黃疸門

五疸ノ因證治 黃汗トシハ陽明ニ熱ヲタクワヘ汗出テ

水ヲアフルニ依テ熱鬱ノ汗黃也身ハ熱ノ渴セス汗

ノ衣ヲ染ル事キツタノ汁ノ如シ黃者茵陳 黃疸ト云

ハ暴熱ニ依テ冷水ヲアヒ熱胃中ニトマリ身面目黃

ニシ小便キツタノ如シ茯苓柴胡茵陳枳實ノ類 穀

疸ト云ハ飢テ發熱シ大食ノ胃ヲヤフリ衝鬱ノ疸トナ

ル食スレハ腹脹シ消セス目マイ小便澀リ身黃也柴胡

枳實梔子大黃ノ類 酒疸ト云ハ大酒ヲノム入發黃

ス酒ノ性ハ大熱也濕熱胃中ニタカヒ又風ノヒキ
水ニ入テ黃ヲ發ス眼黃ニ鼻瘡イテキ小便利セス曾
ト足下熱シタシテハ黑疸トナル柴胡茵陳大黃黃
連葛粉之類 女勞疸ト云ハ大熱ノトキ房ニ入水
ヲアヒ濕脾ニ入腎虛スルニヨツテ尅セラシ腎氣逆上
ス故ヒタイ黒ク身黃ナリ大麥石膏之類煩渴ト腹
熱脹アラハ治シ難シ丹溪カ云必シモ五等ヲ分タサ
シ皆濕熱ニヨツテ也譬ハ麴ノ如ク濕ト熱トタカヒ
氣トシラサレハ鬱ノ黃ク生ス

疸之雜論 一身盡痛ハ濕熱表ニアリ痛マサル者ハ病
裏ニアリ 脈浮滑ニノ腹滿嘔吐セントスルヲハ先是ツ
吐セヨ 脈沈滑ニノ腹滿大使結セハ必先是ツ下ス

ヘシ邪表ニアラハ急ニ汗セヨ表ニ有テ裏ニ行ハ小便
シ利セヨ裏ニアラハ急ニ下スヘシ半表半裏ニアラハ和
セヨ黃色ハ其下ニテ自利ニ腹滿ノ喘セハ熱ヲ除ク
ヘカラス熱ヲノソナハ必嘔ス 脈小ニノ小便利ニ渴セ
サルハ生 脈大ニノ大便利ニ渴スルハ者ハ死ス 疸
毒腹ニ入喘滿スル者ハ危シ 寸口ニ脈ナク鼻イキ
ヒユル者ハ死 口淡クムナサハキシ耳鳴リ足ナ工微寒
發熱ニ小便白ク濁ル是ハ虛證也 四君子湯ハ味
丸ヨロシ冷藥ニテ小便ヲ通シ過ヘカラス恐クハ腎
水カレツキタクシ面黒ク渴出來セハ死スヘシ
傷寒黃發ノ辨 渴傷寒マサニ汗スヘキヲ汗セス將ニ小
便ヲ利スヘキヲ利セサル時ハ發黃ス邪熱太陽ニ傳

へ先淋ノ黄ヲ生シ伏ニ物ニクルフ内ニ血アリ是畜
血ノ證也病人三五日ニ下藥ヲ服スルヲ過テ脾胃
虚津液ホロヒテ渴之發黄スルナリ是ハ陰黄ナリ
黄疸之治方

加味五苓散酒ニヤフラシ暑ニ侵シ疸ヲ發シ渴ノ小便

澁ルヲ治ス 茵陳 赤茯苓 猪苓 白朮

澤瀉 右等分判煎ノ服スヘシ

茵陳湯時行疫癘癉熱裏ニ有テ鬱蒸ノ散世ス一身

悉ク黄ナルヲ治ス 茵陳_二 大黃_一 山梔子_三

右判煎ノ服スヘシ

黄連散二便結シフサカリ熱ノ發黄スルヲ治ス

黄連_二 大黃_一 黄芩_二 甘草_一 右末ノ湯ニテ用

黄耆散黄汗ヲ治ス 黄耆_一 赤芍_一 茵陳_{各二} 石膏_四

麥門冬_一 豆豉_{各一} 甘草_半 右判薑ヲ入煎ノ服ス

加味茵陳散黄疸ヲ治ス 瓜蒌_一 石膏_一 甘草_半

茵陳 木通 山梔子_{各一} 大黃_半

右咬咀ノ薑葱白ヲ入煎ノ服ス

葛根湯酒疸ヲ治ス 枳殼_一 山梔子_一 豆豉_{各一}

葛根_二 甘草_半 右判煎ノ服ス

滑石散女勞疸ヲ治ス 滑石_二 白礬_一

右末ノ大麥ノ粥飲ニテ用ヨ小便ヨリ黄ヲ云ル

加味四君子湯色疸ヲ治ス 人參 白朮 白茯苓

白芍 黄耆 白扁豆_炒 甘草_炙 右等分煎ノ服ス

霍亂門

夫霍亂、渴ノ大ニ水漿ヲノミ或ハ飢テ飽食シ寒熱
調ラス清濁相オカシ陰陽ハタタリ其上ニ風濕熱ノ三
氣ニ侵シ病中焦ニ發リ吐瀉シ痛悶擇亂變亂スル也
偏ニ陽ナシハ多ク熱シ偏ニ陰ナシハ多ク寒ユ

三氣ノ辨 風ハ木也内肝ニ應ス筋轉ノ痛ム濕ハ土也
内脾ニ應ス濕勝時ハ瀉ス熱ハ火也内心ニ應ス膈熱
甚シキカ故ニ吐ス右三氣交リ痛テ霍亂ト成リ邪上
焦ニ有ハ吐マ邪下焦ニ有ハ瀉ス邪中焦ニ有ハ吐瀉ス
乾濕ニ霍ノ辨 濕霍亂ハ死スル者希也瀉ヲ發ス者ヲ
吐瀉ノ皆盡タル時ハ故ニ治シ易シ乾霍亂ハ死ス
ル日多ク上吐スルコトヲ得ヌ下瀉スルコトヲ得ヌ病ヲ發
ス者腹中ニ滯リ正氣隔テ陰陽ヲ閉チ塞ク故ニ死ス

早ク吐サセシメテ其ハ氣ヲ提クヘシ吐テエテ後下スヘシ
轉筋之說 暴ニ吐瀉ノ津液頓ニ少セ脉トチ筋燥テ

故ニ筋ツハマリ引ツリ甚シクハヘノコ縮下リ舌マシ時
ハ治シ難シ男ハ手ニテ其ヘノコヲヒク女ハ手ニテ乳
ヲ引テ兩方ヲ中ニ一處ニ引ヨスヘシ是妙法ナリ四
物湯ヲ用テ酒製ノ黃芩紅花蒼朮ヲ加ヘシ

治例 霍亂熱多クノ渴スル者ハ五苓散ノ類 寒多ク
ノ水ヲ吞サル者ハ理中湯ノ類 頻ニ圃ニ至テ通セス
ハ正氣散ニ枳殼ノ加ヨカツク愈テモ早ク食飲スヘカ
ラス脾胃極メ損ノ傳化セサルニ食胃ニ入ハ必ス危レ
脉之順逆 脉來ルコト浮洪ナク者ハ治スヘシ微ニ遅
ナルハ氣少ノモノ云サル者ハ治シ難シ

霍亂之治方

理中湯中寒霍亂嘔吐治之霍亂吐瀉世橘紅膏
皮ヲ加ヘシ乾霍亂ニハ先鹽湯ヲ頻ニ服シ吐ノ後
是ヲ用ヨ若カラエツカハ陳皮青皮半夏生薑ヲ加ヨ
泄瀉世ハ橘紅茯苓ヲ加ヨ水穀化セサルニハ縮砂ヲ
加ヨ霍亂嘔吐心腹痛ミ手足ヒエハ白朮ヲサリ附
子ヲ加ヨ霍亂之轉筋世ハ白朮ヲ去附子石膏ヲ加
ヨ若臍ノ下痛ハ腎氣ノ冷痛ナリ木ヲ去桂ヲ加
ヨム子サワカハ茯苓ヲクワエヨ渴ノ水ヲ好ハ木ヲ増
ヨ腹滿世ハ木ヲ去附子ヲクワエヨ灸燔ヲ食ニ酒過
ノ人衄世ハ芎藭ヲ加
黃連兩四香扁豆片半厚朴兩四香薷片一
右剉煎ノ服スヘシ

黃連兩四香扁豆片半厚朴兩四香薷片一
右剉煎ノ服スヘシ

竹葉石膏湯暑ニ中リ寒ク惡クス煩渴ヲスルヲ治ス方ハ
傷寒ノ部ニアリ

五苓散暑ニ中リ煩渴身熱之頭痛シ霍亂吐瀉シ小
便アカクスシナキヲ治ス方ハ傷寒ノ部ニアリ

麥門冬湯霍亂イエテ煩熱之多渴ノ小便澁ルヲ治ス
麥門冬 橘皮 半夏 白茯苓 白朮各一兩 人參

甘草各半兩小麥半斤右剉生薑ヲ入烏梅兩ヲシ煎シ用
木瓜湯霍亂吐瀉之轉筋ノ亂シ悶ヲ治 木瓜錢三 吳茱

茴香各二錢 甘草錢一 右剉薑紫蘇葉ヲ入煎ノ用ヘシ
良薑飲霍亂ヲ治ノ神効アリ 良薑 藿香 陳皮各一兩

甘草三 右剉煎ノ服ス

六和湯多ク瓜菓ヲ食シ冷ク吞ミ風ニ中リ食化セス

ノ上下ヲ隔テツイニ霍亂トナルヲ治 半夏 杏仁

人參 縮砂 甘草各一兩 赤茯苓 藿香 白扁豆炒

木苳各二兩 右咬咀シ煎ノ用ヘシ

厚朴湯霍亂ヲ治ス 厚朴 枳殼 良薑 朴硝各二兩

大黃二兩 右剉煎ノ服スヘシ

止渴湯霍亂ノ煩渴スルヲ治ス 人參 麥門冬 茯苓

桔梗 苳蔓根 葛根 澤瀉 甘草 右剉煎ノ用ヘシ

竹葉湯霍亂利ノ後煩熱燥渴ノ子ラレサルヲ治スカラ

竹ノコクセシノ用ヘシ

橘皮湯霍亂ノカラエツキノ止サルヲ治ス 橘皮去白

甘草各一兩 枇杷葉去毛 右末ニセシ少温服スヘシ

霍亂ノ轉筋甚キヲ治スル法 急ニ大蒜ヲ切テ其キリ

口ニテ足ノ裏ノマシ中ヲスルヘシ足温リ筋ユルマル也

先瀉スルヲハ大腸ノ募ヲ灸スヘシ臍ノ脇一寸ニアリ男

ハ左女ハ右十四壯 先吐スルヲハ巨闕ノ穴ノ灸スヘシ

鳩尾ノ下一寸ニテリ下利オマヌ氣促ヲ治ス壯一壯

腹痛門

部分之辨 臍ノ上痛ハ心 左痛ハ肝 右痛ハ肺

中脘痛ハ脾 臍ノ下痛ハ腎 已上腹痛ヲ治セハ

宜ク是ヲ分別スヘシ心腹ノ痛ハ是氣鬱結ノ廻ラサル

故ニ痛ム温散セヨ腹痛トニ有ハ食ニ屬ス木苳香

附子ノ類

腹痛之因

疝ニヨツテイタミ

瀉痢ニヨツテ痛ミ

積ニ依テ痛ミ腸癰アツテイタミ

死血ニヨリイタム

宿食ニ依痛ム蟲發テイタミ

嘔吐ニヨリイタム

治例 氣證ニハ木香檳榔香附枳殼ノ類ノ氣藥ヲ

用ヨ 血證ニハ桃仁紅花當歸川芎ノ類ノ血藥ノ

用ヨ 腹痛手ニテ重クフスハ虛也參朮乾薑桂心

ノ類ヲ用ヨ 腹痛手ヲモセケルハ實也大黃芒硝ニ

テ下スヘシ 肥人ノ腹痛ハ氣虛ノ濕ヲカヌ人參半

夏白朮 寒ニ侵レイタムニハ乾薑桂心 傷暑ノ腹

痛ニハ芍藥良薑干薑ノ類 食傷ノ腹痛ニハ木香

檳榔ヲ用ヘシ 打撲瘀血ノ腹痛ニハ桃仁蘇木

花當歸童便 小便利イタムハ畜血也小便利セ

ス痛ハ溺澁ノ痛也 腹痛ニハ專芍藥ヲ用ヨ惡寒

血世ハ桂ノ加ヨ惡熱世ハ黃蘗ヲ加ヨ

脉例 心腹痛息スル事ヲ得ス脉細小遲ナル者ハ生ヲ

堅大ニシトキ者ハ死腹痛返テ脉浮大ニシ長ルハ死

腹痛之治方

檳榔丸酒積腹痛スルヲ氣ヲ緩クスル藥也 檳榔三稜

莪朮香附官桂蒼木厚朴陳皮甘草茯苓

木香右等分ニ末ノ神麴ノ糊ニテ丸シ白湯ニテ用

腹痛ヲ治スルニ細ニ石菖蒲ヲカニテ水ニテノムヘシ

淋病門

諸方ニ五淋ノ論アリ感スル所一ナラスサリナカラ病ハ皆

熱鬱ノイタス處ニヨル或ハ冷ト云ハ誤也殊ニシラス小

便クタリ淋瀝疼痛ノ是クコラユレハ必ス身フ凡イソ、セ
サムシ故ニ冷ニ似タリモシ誤テ冷トナサハ此不明ナリ
五淋ノ證氣淋ハ小便シフツテ常ニ餘瀝アリ石リンハ
莖中痛、小便卒ニ出ス是小膀胱ノ畜熱也血リンハ
熱ニ逢フ時ハ發リ甚キ時ハ溺血ス膏リンハ小便油ノ
如クニテ出勞リ、ハ辛勞スル時ハ發小腹ノ下ニ引痛
上下氣血ノ分別病上焦ニ有氣分煩ハハ必渴ス病
下焦ニ有テ血分ヲ煩ハハ渴セス凡小腸ニ氣有テ
リンスレハ小便必澁ル也 小腸ニ血有テリンスレハ
小便必澁也
血淋尿血之辨 小腸ニ熱有テ痛、小便シラルク血リ
ント云 痛下スレフラスノ通スルヲ尿血ト云 血リンノ

一證丁サヤカナル血ヲ下スハ小腸心ノ實熱也 色
タ下リ血ノ如クナルハ腎膀胱ノ虛損冷ナリ
治例 凡淋ヲ治スルニハ滯氣ヲ流行シ小便ヲ通シ邪
熱ヲ清解シ心火ヲ調平ス心ス、ニキ時ハ小便自ラ
利シ心平ナル時ハ血亂シス又補氣ノ藥ヲ不可用
氣ハ補ツ得テ彌ヨ蒲ル也血ハ補ツ得テハ彌澁ル熱
ハ補ツ得ハ彌ヨ盛ニノ水道行スシカノミナラス大便
トチ塞リ治、難シ小便通セサル者ハ吐法ヲ用テ其
氣ヲ提ヘシ氣升ル時ハ水自ラ下ル氣虚セハ人參
黃芪升麻ヲ先服ノ後吐スヘシ血虚セハ四物ノ類
ヲ先服ノ後吐スヘシ痰多クハ二陳湯ノ類ヲ服ノ後
吐ス寒熱アル者ハ是ヲ利スヘシ

胞轉之論強テ小便ヲコラヘ小便急ニ早ク走リ或ハ飽食ノ小便ヲコラヘ飽食走適ノ小ヘンツコラヘ或ハ小ヘンツコラヘテ房ニ入右カクノ如ク水氣ノホリ逆シ氣胞中ニセテリ屈矣ノヒ通セスノ臍ノ下急痛ノ小ヘン通セス若シ甚ノ胞ツツル者ハ即死ス

淋病之治方

清心蓮子飲上盛ニ下虛シハ火炎上ノ口苦ク咽乾キ小便赤ク淋トナルヲ治黄芩半兩黄耆兩蓮肉半白茯苓兩人參各七錢半麥門冬各七錢半甘草炙地骨皮各七錢半車前子各七錢半右剉煎ノ用ヘシ發熱セハ柴胡薄荷ヲ加シ八正散心熱之藏府シフリ小便赤ク澀ルトツルヲ治ス車前子 瞿麥 扁蓄 滑石 甘草 山梔子 木通

大黃右各等分剉燈心ヲ入煎ノ用ヘシ熱淋ニモヨシ通秘散血淋イタミコラフヘカラサルヲ治ス

陳皮 香附子 赤茯苓各等分 右剉セシノ服ス

五淋散諸淋ヲ治ス 赤茯苓 山梔子 生甘草

當歸 黃芩ヲ加テヨシ 右剉セシノ用ヘシ

木通湯老人氣虚ノ淋スルヲ治ス 人參 白朮

木通 山梔子各等分 右剉煎ノ服スヘシ

導赤散心虚之蘊熱シ小便赤ク淋痛スルヲ治ス

生地黃錢四 木通錢三 甘草錢二 右剉竹葉ヲ入煎ノ用

立効散淋閉イタミ時ニ尿血之下焦熱スルヲ治ス

瞿麥 山梔子 甘草 右キサミ煎ノ服ス

葵子散小便通セサルヲ治ス 葵子 茯苓各半

右咬咀ノ世ニ服ス

火府丹心熱ニ小便赤ク及淋痛スルヲ治ス

木通

黃芩

各一兩

生乾地黄

二兩

右末シ丸ノ木通ノ煎湯ニテ用ヘシ

通心飲心經熱ニ唇コカシ面赤ク小便通セサルヲ治ス

木通

連翹

右各等分麥門冬湯ニテ調下ス

如神散心熱ニ熱血ヲ侵シ血小腸ニ入故尿血スルヲ

治ス

阿膠

兩

山梔子

車前子

黃芩

甘草

各二錢

右末シ丸ノ

正右末ノ井花水ニ調下ス日二三服

犀角地黄湯小便淋瀝ノ血ヲ出シ甚痛ヲ治ス及心

血ノ亂シ行キ鼻血出ルヲ治ス方ハ傷寒門ニアリ

大疝氣門

...

...

...

...

...

...

...

...

...

凡疝痛ハ濕熱痰積流下ノ病ヲナス或ハ寒鬱ニ依テ

發リ食積ナラヒニ死血ナリ多クハ肝經ト腎經ト絶

スルコトヲナス宜ク下スヘシ

七疝ノ證因 寒疝ハハノコヒエ結ニ堅ク石ノ如ク陰莖

ナエテ痛ミ玉ニヒク是ハ水ヲ渡リ濕ニ坐卧ニ風冷ニ

感ニ是ヲ得タリ温ニ下スヘシ 水疝ハハノコ腫シ痛

ミ陰汗イテ或ハカクホカミヲオセハ水ノ聲アリ是ハ水

ヲ吞ミ酒ニエイ汗イテ風ニ中リ濕ヘノコニアツテ水ヲ

追フ藥ニテ下スヘシ 筋疝ハ陰莖ハシ或ハウミ痛ム筋

ツ、ニリクキノ中痛ム痛ミ極テカク少白物小便ニ隨ヒ下ル

房勞ニ得タリ降心ノ劑ニテ下スヘシ 血疝ハ形チ黃

瓜ノ如クホカミノ兩傍横骨ノ兩ノハニ約中ニアリ是ハ

温熱ノ時房勞ヲ過ノ得タリ氣血ハノコニ毛レ入テハレ
ウミ少ク血多ク血ヲ和スル藥ニテ下スヘシ氣病ハ上
腎區一連リ下スヘノコニ及フ強ク怒ニヨリ氣鬱シ脹ス
怒リ止ハ氣散ス氣ノ散スルノ藥ニテ下スヘシ狐疝ハ
形瓦ノ如ク卧ハホカミニ入リ立行スレハホカミヲ出テヘ
ノコニ入リ狐ハ晝ハ穴ヲ出テ小便シ夜ハ穴ニ入テ小
便セス此疝ノ似タリ氣ヲ追ヒ經ヲメクラスノ藥ニテ
下スヘシ癰疝ハヘノコ腫テ升斗ノ如シ痛マスカユカラ
ス地氣ノ早濕ニ侵シテ得タリ濕ヲサル藥ニテ下スヘシ
又七疝ノ證厥疝ハ心痛シ足ヒ工食シタツレハ即吐ス
癰疝ハ腹中ニ氣ツモリ臂ノナカサノ如シ寒疝ハヒ
エタル食飲ヲ用レハ俄ニ心腹ヒキ痛ム氣病ハ忍ニ

ミチ忍ニ減ノ痛ム盤疝ハ腹中痛ミ臍ノカマツラニ
ヒク附疝ハ腹イタミ臍ノ下ニ連リ精聚アリ狼疝ハ
ホカミトヘノコトノ間ヲ引テイタム
脈例 牢強ニシテ急ナルハ生ク 虛弱ナル者ハ死ス
疝氣之治方

茴香散疝氣ノ痛ヲ治ス 杏仁 茴香各一兩 葱白焙乾半兩
右末ノ酒ニカキタテ、先クルミヲ食シ即藥ヲ吞ナリ
加味通心散腎膀胱實熱シ小腸ノ氣痛ニ通セサル
ヲ治ス 瞿麥 木通 梔子 黃芩 連翹 甘草
枳殼 川練子各等分 右剉燈心ヲ入煎ノ服ス
立効散疝ヲ治ス 川芎 青皮 川練子 茴香 桃仁
黑牽牛各等分 右剉煎ノ用ヘシ

茴香散膀胱ノ氣ノ痛ミヲ治ス 茴香 莪朮 三稜

金鈴子肉 各一兩 甘草 多半兩

右末シ酒ニテ用シコル毎ニ連日二三服

或入膀胱ノ氣痛ミコラフヘカラス醫者剛劑ヲ與ヘテ

痛ミ彌ヨ甚シ小便三日通セス臍ノ下脹モタユ各

醫面赤ク黒ク脈大ナルヲミテ云ク是ハ熱藥過テ陰

陽フサカリ氣通セスハ五苓散ニ葱白根ヲ入茴香

鹽少ク加テ數服ヲ用テ小便墨汁ノ如ク即臍ノ下

緩クノ眠ヲ得テ次ノ日脈平ナリ

喘急門

喘ノ諸因奇効良方ノ論 風寒暑濕ノ邪氣肺ヲオカ

ノ脹滿ノ喘ス 七情ノ氣五藏ヲ傷リ鬱ノ痰ヲ生ノ

喘入脾腎トモニ虛ニ體弱ニヨツテ一身ノ痰ヲ収メ養

スノ喘スル者アリ 脾濕腫滿シ水氣肺ニ乘ノセシスル

者アリ肺虛ノ風邪肺癰ヲ侵シ氣留リ升リ付テセシス

ル者アリ諸喘ハ熱タリ火熱ハ陽也ス、ミ急シキ事ヲ

主ル火上ニ動ノ急ハ發ル也譬ヘハ夏ノ熱甚シキ時

ハ息早クノアラキカ如ク喘ノ熱タルヲ疑ナシ

治例 風寒傷ハ必上氣急ニノ子ラレシ喉ノ中ニ聲アリ

或ハ聲出スハ三拗湯神秘湯ヲ用ヘシ喘ノ痰多クハ

蘇子降氣湯ノ類ヨシ虛ノセシ脈微ニ面青ク黒ク

厥冷シ小便多キニハ五味子湯ノ類ヲ用ヘシ上氣

ニ喘ノサワカシキハ肺ノ滿ル也風水トナラントスル也必

汗ヲ發ノヨシ内鬱スル者ハ調ヘ順スルヲ先キトセヨ

陰血虛少ニノ上喘吐ハ陰ヲマシ血ヲ養フノ藥ヲ用
 テ治スヘシ 仲景カ云發汗油ノ如ク出テ珠ニ似テ
 流シス喘急止サル者ハ治スヘカラス又曰産後ニ下
 ス多クノ榮儀ニツキ衛メヨリナクノ獨リ脾ニ聚テル
 故ニ喘ヲ發スル也是ヲ孤陽絶陰ト名ツク治シ難シ
 又シキ病氣虛ノ喘吐ハ人參五味子阿膠ノ類
 新病氣實ノ喘ヲ發セハ桑白皮葶藶ノ類
 脈之逆順喘ニ脈滑ニノ手足アタカナル者ハ生ク
 脈濇ニノ四肢ヒユル者ハ死ス脈數ナル者ハ死ス
 喘急之治方
 神秘湯上氣喘急ノヨコ子ナラサルヲ治ス陳皮 桔梗
 紫蘇 五味子 人參各等 右剉煎ノ食後ニ用ヨ

五味子湯喘促脈伏ノ數ナルヲ治ス 五味子錢二 人參
 麥門冬 杏仁 橘皮各二錢半 右咀咬ノ薑棗ヲ入煎服ス
 定肺湯上氣シ喘嗽スルヲ治ス 紫苑 橘紅 杏仁
 五味子 枳殼 半夏 桑白皮 紫蘇子 甘草各一錢半
 右剉ハシカミ紫蘇葉ヲ入セシノ用ヘシ
 加減瀉白散上氣喘急ヲ治ス 青皮二兩 桑白皮一兩
 知母 地骨皮 陳皮 桔梗各半兩 黃芩 甘草各三錢
 右剉セシノ食後ニ服スヘシ
 平氣散人アリ年五十二ノ肥タリ酒ヲ過シ美食スルニ
 依テ腹脹滿ノ喘聲家ノ外ニキコユ安卧スルコトカナ
 ワスニ便澁リ氣口ノ脈ノ大ナル事ハ人迎ニ兩倍セ
 關脈沈緩ニノ力アリ此人此ノ前二劫ニ依テ初秋

ヨリ山中ニイリ八月中ニ長雨セリ醫者霖雨 濕ト
飲食ノ熱トニヤフテ濕熱ノ火盛ニ升テ肺ヲセムル
事ヲ之ル神氣ミマシサツカシクノ喘滿ス邪氣盛ナル
時ハ宜ク下スヘシ故ニ此方ヲ立テ是ヲ下ス

白牽牛

半生半炒
頭末一兩

大黃

七錢

陳皮

兩半

青皮

各三錢

檳榔

各三錢

内經ニ云肺ハ氣ノ逆上スルヲ苦シム急ニ苦キク食
ノ以テ是ヲ漏ス故ニ牽牛ノ寒苦ニテ氣分ヲ瀉ス濕
熱升リセム故ニ是ヲ君トナス陳皮ハ苦温ハノ體輕ク
浮フ故ニ是ニテ肺ヲ収ム青皮ノ苦辛ニテ肺中ノ滯
氣ヲ散スコノニ味ヲ巨トス檳榔ノ辛温性ハ沈ミ重
シ是ニテ痰ヲ下シ氣ヲ下ス大黃ノ苦寒ニテ實滿ヲ
ス、キ流ス此ノニ味ノ使トセリ右細末ノ薑湯ニテ調

下ス一服ニテ病半減ス二服ニテ喘愈タリ只胃イキレ
熱シ口乾キ時ニ咳ス加減瀉白散ニテ悉ク愈タリ

痰飲門

諸痰之由來 氣脉トチ塞カリ津液通セス水飲停留
結ノ痰トナル者アリ胃氣虛弱ニ水穀ヲ運行セス
痰トナル者アリ酒後ニ水ヲノミ脾胃ニ停ノ痰トナル
者アリ 風寒濕脾ノ藏ニ入相搏テ痰トナル者アリ
夫人ノ脾胃ハ倉廩タリ以テ穀ヲ入脾虛ノ穀氣ヲ運
行セス故氣血滋養ヲ失之周流セス中焦穀ヲトロカシ
コナサツイニ停滯ス或ハ七情ニヨリ飲食ニヨリ勞役
ニヨリ濕熱内ニ發リ風寒外ニ侵セハ皆痰飲ト成也
四飲之證 痰飲ハ本ハ盛ナレモ今ハヤセ腸間ニ水ノ

聲アリ 懸飲ハ吞タル水腸ノ下ニ流シ咳唾ニヒキ
出ス溢飲ハ水手足ニ流シ汗スヘクメ汗セス身重シ
皮飲ハ咳逆之物ニヨリカ、ハ息苦シク腫ノ如クニ
卧コトヲ得ス 已上合テ四飲ト云

六證ト云ハ上ノ四飲ニ二飲ヲ加テ云也 留飲ハ背寒
ル事手ノ大サホト息短クメ渴シ手足ノ骨節痛ミ腹
脇痛ミテ缺盆ニヒキ咳スル時ハ痛ミ甚シ 伏飲ハ
膈滿嘔吐シ喘咳ス發ル時ハ寒熱ノ腰痛ミ淚イツ
痰ヲオイ氣ヲ順スルノ前後 氣ノ道ハ順ヲ貴フ順ナシ
ハ津液通シ痰ノ病ナシ先氣ヲ順ノ後證ニ隨カヒ汗
下温利ヲ用ヨ是ハ氣ノ不順ナルニ依テ痰ヲ生シタ
ル故也病人モトヨリ痰積アリ其氣痰ニヨツテ結滯

スル者ハ氣ヲ順スル計リニテタニ行ス必ス先ツタニ結
ヲオイ失フ時ハ滯氣自ラユクナリ

東垣カ五痰ノ論濕心經ニアレハ熱タント成リタニ結ノ
ニカワノ如ク色紅也 濕汗經ニアレハ風タント成リ青
クノアツノ如ク濕脾經ニアレハ濕タニトナル濕タニ其
色黄也 濕肺經ニアレハ氣タニトナリ色白ク吐キ出
セハ米粒ノ如ク濕腎經ニアレハ寒タニトナル色黒ク
唾ノ如ク治法或ハ下ニ或ハ汗ニ或ハ温メ或ハ利ス
ヘシサリナカラ先氣ヲ順シ其後證ニ隨ヒ分導スヘシ
痰清濁新久ノ辨世俗清白ク寒トナシ黄濁ク熱トナス
殊ニシラス始ハ清テ白ク久シキ時ハ濁テ黄ナル事ヲ較
ノイテ安キ者ハ清テ白ク咳ノイテ難ハ黄濁ニシテ結滯ス

諸證痰二依テ是ヲナス 頭風眩暈口眼瞶動眉稜耳
輪痛ミカユク喘咳手足ハレ堅ク痛ムニ似テ痛マズ咽
二物アツテ吐トモ出ス吞トモ下ラス心下氷ノ如クヒ
工身ノ義ハ然レ時カ如シ眼レフリユカク胃シトリサワ
キ臂イタミアカラス 已上皆タシノシワサナリ

龐安常カ云人身ニ倒上ノ痰ナク天下ニ逆流ノ水ナ
シ誠ナルカナ此ノ事 頭風或ハ眉稜角イタムニ頻
ニ風藥ヲ用テ驗無キニハ痰藥ヲ服ノ多ク驗アリ
眼赤ク澁リ痛ニ涼藥ヲ用テ愈サルニハ 痰藥ヲ用
テ愈ル事ヲ得タリ

丹溪カ云二陳湯ハ一身ノ痰ヲスヘテ皆治ス若シ下ニヤ
ラント思ハ引下ノ藥ヲ加ヨ升セント思ハ引上藥ヲ加
ヘシニヨク痰ヲ治スル者ハ痰ヲ治セスノ氣ヲ治ス氣順
スル時ハ一身ノ津液氣ニ隨テ順ス又云人身ノ中結
核アツテ痛マズ紅ナラス膿マズノ有ルハ皆タニナリ
脈例 左右ノ關脈大ナル者ハ膈上ニ痰有是ヲ吐スヘシ
病人短氣ニソ手足ノ節痛ミ脉沈ナル者ハ皆飲有也

痰飲之治方

潤下丸 濕タレツ治ス 黃芩 香附 半夏 貝母 各等分
右抹スノ丸 瓜薑仁 青黛ヲ加テハ熱タレツ治ス
中和丸 濕痰ヲ治ス 蒼朮 黃芩 半夏 香附子 各等分
右末ノ丸ニ薑湯ニテ用ヘシ
瓜薑丸 倉積痰フサカリト、コブリ喘スルヲ治ス
瓜薑仁 黃連 各等分 半夏 一冊 右末ノ丸ニ用ヘシ

化痰圓停滯宿飲ヲ去半夏各一 人參各一 桔梗各一 茯苓各一

前胡兩半 白木兩 枳實兩 甘草各半 香附子兩

右末ノ半夏薑汁ニテ糊ヲニテ凡シ薑湯ニテ用ヘシ

枳殼半夏湯熱痰ヲノソキ氣ヲ降シ中ヲ緩クシ胃ヲ利

之上ヲ涼フ之痞滿ヲ治枳殼半夏黃芩各一 桔梗兩

甘草兩 右剉桑白皮五寸烏梅一枚ヲ加テ煎ノ用ヨ

二陳湯痰ニ依テ或ハ嘔ニ眩悸シ中脫心ヨカラサルヲ治

ス又生冷ノ物ニ傷シ酒過ノ痰ヲ治半夏橘皮各五

白茯苓兩 甘草兩 右剉生薑烏梅ヲ入煎ノ服ス

橘皮半夏湯タニ塞カリ又ノ涎嗽スルヲ治ス常ニ服ス

シハ液ヲ養ヒ燥ヲ潤シ肌熱解シ咳嗽ヲ止ム

橘皮去白半兩 半夏湯洗七次 右剉薑ヲ入セシ服ス

省風湯痰厥ヲ治ス半夏兩 防風兩 甘草兩

右剉薑ノ入セシ用ヘシ

前胡半夏湯タニ盛ナルヲ治前胡半夏茯苓各二

陳皮木香紫蘇枳殼甘草各一 右剉煎ノ服スヘシ

桔梗湯胃膈脹滿シタニ盛ニ氣短ク嘔涎アルヲ治ス

桔梗兩 半夏兩 陳皮去白 枳實炒 右剉煎ノ服スヘシ

道痰湯諸タニフサカリ盛ニ膈飲痞塞スルヲ治ス

半夏炮三 天南星炮 枳實炒 赤茯苓兩

橘紅各二 右咀咬ノ煎シ食後ニ用ヘシ

檳榔散胃痰嘔逆シ不食シ力弱ク腹鳴ルヲ治ス

檳榔各一 桂心各三 杏仁炒 半夏兩 赤茯苓兩 陳皮兩

人參各一 白木兩 右咀咀ノ煎シ温服スヘシ

水玉湯眉稜骨痛ニコラフヘカサルヲ治ス是ハ痰厥也
半夏湯ニテ洗コト七度切テ片トナス

氣門

五氣之論喜テ虚スレハ腎氣乗ス憂テ虚スレハ心氣
乗ス怒テ虚スレハ肺氣乗ス悲テ虚スレハ肝氣乗ス
恐テ虚スレハ脾氣乗ス丹溪カ云一身ヲ周流ノ以テ
生ヲナス物ハ氣也陽ユク則ハ陰來リ陰ユク則ハ陽
來ル一升一降ノ極リヤム事ナシ内七情ヲ勤セス外
六淫ニ感セスレハ其氣何ノ病ト云テカ有ニ世ニ冷
氣滯氣逆氣上氣ト云ハ皆肺火邪ヲウテ炎上ノ化
ヲ得テ升ルコト有降ルコトナシ甚シクハ上焦ヲ焦

ス中焦化セス下焦ヲササルニ至ル變ノ諸病トナル
九氣ノ說舉痛論ニ曰百病ハ氣ヨリ生スト怒ル則ハ
氣升リ喜フ則ハキユルニ悲ムトキハ氣消ス恐ル則
ハ氣降ル寒ルトキハ氣ヲサマル是キ則ハ氣泄ス驚
ル則ハキミタル勞ル則ハ氣耗ス思フ則ハ氣ムスフ
已上九氣ノ不同也然ニ諸氣動ニ發レハ皆熱ト也
子和カ云天地ノ氣常ナル則ハ安ク變スル則ハ止ム
人ハ天地ノ氣ヲウク五運タカヒニ外ヲ侵レ七情コモク
内ニタカフ故ニ古人ハ氣ヲ惜ムテ至實ヲ持カ如ニ
脉例經ニ曰脉滑ナル者ハ血多ク氣少シ脉瀦ナル者
ハ血少クノ氣多シ脉大ナル者ハ氣血トモニ多シ脉來
ル事六ニソカタキハ血氣共ニ實ス脉小ナル者ハ氣血

共二少也脉来ル細ニノ緩ナル者ハ血氣共ニ虚ス
治例 大抵氣鬱スルコト上ニアラハ宜シク散スヘシ
氣鬱スルコト下ニアラハ下サニ利スヘシ

氣之治方

異香散腎氣和セス腹脇フクシ食化之堅ク噫上酸ク冷
氣結聚之腹痛スルヲ治ス 蓮肉 莪朮 益智 三稜
芽草各三兩 青皮 陳皮 厚朴各一兩 右剉煎ノ用ヘシ
七氣湯七情氣鬱シ心腹コワリ痛ミ甚キヲ治ス 人參
肉桂 甘草各二錢 半夏炮半兩 右剉煎ノ食遠ニ用ヘシ
沈香降氣湯陰陽フサカリ滯リ升降サス胃塞カリ喘
促ノ噫上酸ク脇妨ヲ治ス 沈香 縮砂 甘草各二兩
香附子十兩 右細末ノ鹽湯ニテ調下ス

分氣紫蘇飲男女脾胃不和胃中ムセ塞カリ脇痛ミ
喘脹之不食之嘔吐スルヲ治ス 紫蘇 五味子
桑白皮 陳皮 桔梗 草菓 大腹皮 茯苓 甘草
右各等分剉煎ノ用ヘシ

四七湯七情結ノ痰トナル形ヲ梅ノ核ノ如シ或ハフル
綿ノ如ク咽ニ有テ吐トモ出スノメヒクタラス嘔逆ス
ルヲ治ス 半夏三兩 厚朴二兩 茯苓三兩 紫蘇二兩
右剉煎ノ食遠ニ用

寬中湯氣升降セス痰涎鬱之塞カリ食飲化セサルヲ
治ス 檀榔 半夏 木香各二兩 三稜 青皮
陳皮各半兩 右末ノ麩ノ糊ニテ丸シ食後ニ用ヘシ

秘結門

諸秘之證治 風秘ハ風痰大腸二結ニ秘ノ通セス風
ヲ散セヨ氣秘ハ氣ノ滯ルニ依テ後重セマリ痛ニ煩悶
脹滿ノ大便結ス氣ヲ通スヘシ 寒秘ハ老年ノ人腸
ヒ工痿痺結滯ニ糞ヲツス温ヘシ 虛秘ハ年々テタル人
或ハ津液虚ニ血少ノ腸胃カワキ澁ル潤滑スヘシ熱
秘ハ大腸實熱シ氣フサカリ通セス心腹煩悶ノ大便
ヒス熱ヲ凉フスヘシ濕秘ハ腸胃濕鬱シウチテヒス濕ヲ
通利セヨ陽結スルヲハ散スヘシ陰結スルヲハ温ス
治例 小便自利ノ大便カタクハ下スヘカラス必潤ヘシ
食物アツテ大便結セハ是ヲ下スヘシ 實熱ノヒセハ
必ス瀉セヨ大黃枳實黃芩血液虚少ニシテ秘セハ必ス
潤セ挑仁陳皮杏仁 風秘ハ陳皮防風杏仁檳榔

大黃老人氣虚ノヒセハ陳皮杏仁蘇子木瓜沈香
檳榔積滯ニシテ秘ハ青皮檳榔木香巴豆莪朮大黃
濕秘ニハ檳榔ヲ用ヘシ婦人産後氣血虚ノヒセハ
ミタリニ疎下ノ藥ヲ用ヘカラス恐クハ元氣ヲヤフラン
只氣血ヲ調ヘ燥ヲ潤シ澁ルヲ滑ニシ風ヲ散スル則
ハ必ス自ラ通スル也

秘結之治方

牛黄散上焦熱ニ蔽府秘結スルヲ治ス
大黃二 白牽牛頭末 右末ノ温湯ニ調下ス
麻仁圓腸胃熱燥ニ大便秘結スルヲ治ス 厚朴半
芍藥 枳實各半 杏仁五兩 大黃蒸焙 麻仁別研
右末ノ蜜ニテ凡シ温水ニテ用ヘシ

橘杏丸老人氣秘ノ大便通セサルヲ治ス

橘紅 杏仁 各等分 右末ゾ丸米飲ニテ用ヘシ

大黃飲子身熱シ煩躁シ乾テ大便通セサルヲ治ス

大黃 煨ニ 杏仁 枳殼 梔子 升麻 生地黄 各一錢半

人參 黃芩 各七 甘草 炙五 右剉煎ノ服ス

孟詵カ云大使通セス氣奔テ死セシトスルヲ治スルニ烏

梅十顆ヲ以テヌルユニ浸シ須臾ニ捫テサ子ヲサリ細末

ノ丸ニ棗ホトニノ肛門ノヲクニ入テ暫クオナハ即通ス

諸熱門

五藏之熱證肺熱スシハ皮毛熱シ喘咳寒熱ス心熱

スシハ脉熱シ煩心痛シ掌中熱ス脾熱スシハ肌肉熱

シ夜甚シク怠惰ノ四肢攻テラス肝熱スシハ筋熱シ

寅卯ノ刻甚シ脉弦ニシ多ク怒リ手足熱シ筋ナユル也

腎熱スシハ骨髓熱シ骨中蟲ノヲフカ如ク起テイラシ

諸經之熱證面熱スルハ足ノ陽明口中熱ノ子ハルハ

足ノ少陰口熱シ舌乾ハ足ノ少陰耳前熱スルハ

手ノ太陽掌中熱スルハ手ノ三陰足下熱シ痛ハ

足ノ少陰身熱シ膚ハ痛ハ手ノ少陰洒淅寒熱ハ

手ノ太陰中熱シ喘スルハ足ノ少陰身ノ前熱スルハ

足ノ陽明一身熱シ物ニナルヒタワコトツクハアシノ陽

明 肩背足小指ノ外ノカタ脛ノ内踝ノ後熱スルハ

アシノ太陽 肩上熱シ肩ヌクル如クナルハ手ノ太陽

内經ニ曰 陽盛ナル則ハ外熱シ陽虛スル則ハ外寒

ハ陰盛ナル則ハ内寒ハ陰虛スル則ハ内熱ス内外

皆熱スル則ハ喘ノ渴ス故ニ冷飲ヲノソム

氣血兩熱ノ異 晝熱シ夜静ナルハ是陽自ラ陽分ニ
旺ス晝ハ静ニ夜熱燥スルハ是陽陰中ニ陷下ス熱
入血室ト各ツク 晝夜同シク熱燥スルハ是重陽
無陰ナリ急ニ陽ヲ瀉シ陰ヲ補フヘシ

精熱之論 奇効良方ニ曰心脾漸ク積子ツスル則ハ
口苦ク咽乾ク涎唾子ハリ淚多シ心氣ハ舌ニ通シ脾
氣ハ口ニ通ス子ツト燁ト相合ノ受制スル所ナシ故
ニ口舌ニ瘡ヲ生ス小便秘澁ス是傷寒ノ熱證ニテ
ラス風邪ノ子ツニアラスコシ即積聚スルノ子ツナリ

治例 黃連ニテ心火ヲシヤシ 黃芩ニテ肺火ヲシヤシ
白芍藥ニテ脾火ヲ瀉シ 知母ニテ腎火ヲ瀉シ 木通

ニテ小腸ノ火ヲ瀉シ 石膏ニテ胃火ヲ瀉シ 黃蘗ニ
テ膀胱ノ火ヲ瀉シ 黃芩黃連ニテ大腸ノ火ヲシヤシ
柴胡黃連ニテ肝膽ノ火ヲ瀉シ 炒黃栢ニテ相火ノ
有餘ノ瀉シ 柴胡黃芩ニテ三焦ノ火ヲシヤスヘシ若
シ陰虛ノ陽強ノ相火盛ニシ陰ヲ侵シ漸ク炒乾シ
血虛スルニハ甘寒ノ劑ヲ用ヨ當歸地黄ノ類若心
火タカフリ熱シ内實セハ陽強ノ病トナシ 鹹冷ノ劑ニ
テトスヘシ 大黃朴硝ノ類 若腎水傷ヲウケ其陰守
ヲ失シ無相ノ火虛炎ノ病ヲナサハ水ヲ盛ニスルノ藥
ニテ制スヘシ 生地黃玄參ノ類タルヘシ 若飲食勞倦
スル則ハ内元氣ヲヤフル火兩ヲ立セスノ陽虛ス甘温
ニ宜シ 黃耆人參甘草ノ類 苦キ物ハ藏ヲ治ス藏ハ

陰二屬ノ内二居ス辛物ハ府ヲ治ス府ハ陽二屬ノ外
ニアリ内熱スル者ハ下スヘシ外熱スル者ハ發スヘシ
右諸熱ヲ治スルニ血ヲ養陰ヲ益シ必其熱自消ス
諸熱之治方

涼膈散大人小兒藏府ノ積熱煩渴唇焦シ咽乾キ目
赤ク鼻衄痰實ノ利セス睡卧ノ謔言シ腸胃カワキニ
便結スルニヨシ 大黃 朴硝各一 甘草一分 山梔子
黃芩 薄荷各二分 連翹二分 右剉竹葉ヲ入煎用ヘシ
三黃丸諸熱ヲ治黄連黄芩黃蘗各等分 右末丸ノ服ス
黃連解毒湯 黃連 黃栢 黃芩 山梔子各二分
右剉煎メ食遠ニ服ス
清涼飲 大黃赤芍當歸芍草各等分 煎服ス

犀角散 犀角鎊 黃連 大黃 芍藥 甘草

右等分剉煎メ溫服ス
大金花丸諸熱ヲ治ス 黃連 黃栢 黃芩 大黃
右細末メ丸ニ新水ニテ用大黃ヲ去梔子ヲ加梔
子金花ヲウレト各ツク

荆黃湯 荆黃熱結滯ニ或ハ瘡癤ヲ生スルヲ治ス
荆芥兩 大黃兩 右剉セシメ服

痺門

風寒濕ノ三氣五痺ヲナス論春得ル則ハ筋痺トナル
肝ニ中テ筋變ス夜卧ノ驚キ飲食多ク小便便シテ之
夏得ル則ハ血痺トナル心ニ中テ血脉通セス胃ヲトリ
逆喘ニ咽燥キヲヒス 土用ニ得ル則ハ肌痺トナル

痺ニ中テ手足怠惰ノ嘔逆ス秋得ル則ハ皮痺ト
ナル肺一中ル故ニ皮覺エス煩滿ノ嘔ニ氣走リ痛ム
冬得ル則ハ骨痺トナル腎ニ中テ骨重クノ擧ラス故
ニ行歩カナワス風勝則上下ニ走リウツリ節ニアツ
マリ筋ヲサマラス寒勝則ハ手足ヒキツリ痛ミツキフ
シ腫ル也濕氣滯テウツラサレハ汗多ク手足ユルマ
リ弱クメ皮膚ヲホエス精神クラシ

五證 骨ニアレハ重ク擧ラス 脉ニアレハ血ユリ流シス
筋ニアレハ屈メノヒス 肉ニアレハ身トモ覺エラシス
皮ニアレハヒエ寒ニアエハ急ニナリ熱ニアエハユルマ
ル 凡痺ノ證痛ムハ寒多シ痛マス身トモホエサルハ病
ノ深キナリ榮衛ニフリ經絡通セハメ皮膚ヲイトナマ

スメ痛トス身トモホエラシメナリ

脉經ニ曰 脉瀦ニシテ緊ハ痺ノ病ナリ

痺之治方

升麻湯肌熱之レヒシ體上ヲ蟲ハウカ如ク唇ノハ色變

スルヲ治ス 升麻三 茯苓三 人参三 防風 犀角

羚羊角 羌活各二 官桂半 右剉煎用

當歸湯 肺痺上氣之胃腸ミチ塞カリ卒ニ發ル卒ニ病

不食之唇口乾キ手足冷痛ヲ治 當歸 防風

黄耆各二 杏仁五 黄芩去 細辛 麻黄製

人参各二 桂心三 柴胡八 半夏五

右咬咀メ煎之温服ス

茯苓湯 痺支飲手足スクミシヒシ多ク眠リ眩肖ス

ルヲ治 半夏 茯苓 陳皮各一兩 桔梗 甘草各半

右剉煎之用

枳實散 心痺胃中氣カタクイタミ氣短ク咳嘔ニ毛痛

ニ食飲ス、下ハルヲ治ス 枳實 桂心 細辛

桔梗各三 青皮一兩 右剉せん之服ス

枳實散 胃ニヒシ膈下堅ク塞カリ胃背拘急スルヲ治ス

枳實 赤茯苓 前胡 陳皮各一兩 木香半兩 右煎食前二服

枳實散 心ヒシ痛ヲ治ス 枳實雙炒 官桂去麤皮一分

右細末ノ橘皮ノ煎湯ニテ用空心日午卧時

諸證ニ隨ヒ用ヘキ藥劑 熱痺ニハ升麻羚羊角

冷痺ニハ桂心當歸 痛痺ニハ川芎當歸 血痺ニ

ハ杏仁當歸芍藥 痰痺ニハ半夏枳實 行痺ニハ防

風葛根 著痺ニハ茯苓桑白皮 筋痺ニハ羚羊角

獨活牛膝薏苡 右證ニシタカイ消息ニ判前用ヘシ

痿門

五痿 肺熱葉コカル五藏ニ依テ是レウツク發メ痿厥足ト

ナル 心氣熱ノ痺痿ヲ生ス足三ハラフノ地ヲフミ得ス

肝氣熱ノ筋痿ノ生ス宗筋ユルハ脾氣熱ノ肉痿ノ生

スレヒシテ覺エス腎氣熱ノ骨痿ヲ生ス足身一隨ハス

痿證之由來 金ノ性ハ乾テ上ニ居、氣ノ主テ火ヲ恐

ル土ノ性ハ潤中ニ居ス肢ヲ主テ木ヲ恐ル火ノ性ハ

炎トス若シ房勞スレハ水ノ養ハス火ヲ恐ル少ノ

金ヲアナトル肺火邪ヲ得テ熱ス木ノ性ハ剛急也肺

熱邪ヲウケ金養ス木ヲ恐ル少ノ土ヲアナトル脾

木邪ヲ得テヤフルハ右カクノ如ク肺熱スレハ一身ヲ
イトナマス脾傷テ手足用ラレスノ諸ノ痿病ヲコル
痿ノ治例 火ヲ瀉シ金ヲ涼フセヨ金涼シテハ木平
也木平ナレハ脾ノ傷ナシ水ヲ補イ火ヲ降セ火クタレ
ハ金虚セス金虚セサレハ肺傷ル事ナシ痿證ノ不足ル
ノ者ハ陰也血ハ陰ヲ補イ血マセハ必愈俗方ニハ悉
ク陽ヲ補ル氣ヲ補ス何レソ實々虚々ノ患ヲ危ニシ
痿之治方

清燥湯 濕熱痿トナル金濕熱ノ邪ヲウチ水ノミナカミ
ツ絶シ腎虚ノ痿變ノ病大二袋リ腰ヨリ下ナエテ動セ
サルヲ治ス 黄耆半錢 蒼朮錢一 白朮 橘皮 澤瀉各錢一
五味子九箇 人參 白茯苓 升麻各分二 麥門冬

當歸 生地黃 麴末 猪苓 黃蘗炙 柴胡
黃連 甘草各分三 右剉煎服ス

牛膝丸 腎肝損ノ骨ナエ立居ナラス筋弱クノ収持セサ
ルヲ治ス精ヲ下ニ中シユルクス 牛膝 葶藶 杜仲
茯苓 防風 兔絲子 菴蓉各等分 官桂半咸
右未ノ酒ノ糊ニテ丸ノ空心ニ酒ニテ用ヘシ

下血

四氣之見證 風腸胃ニ入ハ眩必ス浮血糞前糞後ニ
有藏ニ寒アツテ下血ハレハ脉沈微痛無クノ下ル精熱
ノ皆ハ時洪數アサヤカナル血ヲ下シ痛アリ濕ニ侵シテ
ハ脉沈遲血ヲ下スヲ豆汁ノ加テ能分別ノ可療治ス
鮮紅ハ熱トナスノ說 内熱毒ツツ、ミ毒氣腸胃ニ入

或ハ酒ヲ過シ魚鳥ヲ食シ是ニ依テ血ヲ引キ大腸
 ニ入故ニ紅ナル血ヲ下ス一味ノ黃連丸ヲ佳リトス
 痿血ヲ下ハ寒トナスノ説 血逐氣ハ沈ミテ冷氣腸胃
 ニ入故ニタマリ血ヲ下理中湯ノ類ニテ温散スヘシ
 治例 専ラ寒藥許ツ用サシ寒藥ノ中ニ辛味ヲ佐トセ
 ヲ久シク愈サル者ハ後ニ升舉ノ藥ヲカ子其中ニ酒
 ニ浸シ炒リアフリタル涼藥ヲ加ヨ熱有ハ四物湯ノ
 類ニ梔子升麻ヲ加ヨ虛世ハ温散世ヨ四物湯ノ類ニ
 乾薑升麻ヲ加ヨ打撲ノ惡血腸胃ニ入下血之濁
 テ瘀ノ如クナラハ黑神散ヲ用ヘシ 糞前ニ血ノ下ル
 フハ近血ト名付石榴皮ヲ用ヨ糞後ニ血ノ下ハ遠
 血藥ヲ用テ單ニ行ヒ單ニ留ヘカラス

下血之治方

槐花散腸二風有テ毒ノカクノ下血スルヲ治ス 槐花
 栝葉 荆芥 枳殼各等分 右末ノ空心ニ米飲ニテ用
 槐花丸腸風下血脫肛ノ下血并ニ痔ヲ治ス
 槐角一兩 枳殼 地榆 黃芩 當歸 防風各半
 右末ノ酒ノ糊ニテ丸ノ米飲ニテ用ヘシ
 阿膠湯傷寒ノ熱毒胃ニ入テウミ血ヲ下スヲ治ス
 黃連二兩 梔子半兩 阿膠 黃栝各一兩 右剉煎ニ散ス
 聚金丸腸胃ニ熱積リ或ハ酉毒ニヨリ下血ハ腹痛ニ
 熱渴ノ弦數ナルヲ治ス 黃連四兩 黃芩 防風各二
 右末ノ麩ノ糊ニテ丸ニ枳殼ヲ浸シタル水ヲ用ヘシ
 冬ハ六黃一兩ヲ加ヨ

龍肝湯遠血ノ治之又此血衄血ヲモ治ス伏龍肝半斤
甘草白朮阿膠黃芩地黃各二兩右咬咀ノ煎服
血之下ス事二十年ニ餘ルヲ治ス地榆鼠尾草各三兩
右水二升煎ノ滓ヲ去リ頓ニ服スヘシ

腰痛門

巢氏カ五種ノ腰痛陽氣不足ニ少陰ノ經腎虛ニテ
腰痛△風寒濕腰ニ著ノ痛△勞役過房ニ腎ヤフ
シテ痛△車馬ヨリ落テ或ハ高キ所三リツテ腰ツ
打傷リ痛△濕地ニフキフシツノ濕ニオカサシ痛△
素問六經之腰痛太陽ノ腰痛ハウナシセホ子尻ク引
キ背オモヒ陽明ノ腰痛ハ左右ヘカエリミラヒス強ク
悲△少陽ノコレ痛ハ針一テ皮ヲサス如ク倪仰セラシ

ス太陰ノコレ痛ハ熱シツカレコレニ横木アルカ如ク
遺尿ス少陰ノヨウ痛ハセホ子ノ内角ニ引ク厥陰ノ
ヨウ痛ハハリ弓ノ如ク黙々トノ心ハヒス

素問ニ脾胃ノ兩熱コレ痛ノイタスノ說脾ニ熱戰フ時ハ
ヨウ痛ノ倪仰セラヒス腹滿ノ泄ス腎ニ邪熱有ハ腰痛
ニ脛ニヒシ舌乾ク且人ノコレハ一身ノ太關六經ノ懸ル
所虛多ク實少或ハ房勞ノ虛スレハ邪入テ以痛ヲナス
脈辨天脈沈弦ハ腰背ノ痛ミヨウ痛ノ時ハ皆沈ニシ
弦也沈弦ニシテ緊ハ寒也沈弦ニシテ浮ナルハ風
也沈弦ニシテ細ハ濕也沈弦ニシテ實ハ閃挫トナス
治例寒濕ノ腰痛ハ熱クミテハ減之寒クミテハ増ス五
積散ヲ用テ杜仁吳茱萸ヲ加ヨ中濕ノ腰痛ハ水中

二坐スルカ如シ滲濕湯 腎虛 腰痛ハトコカエリナラス
大建中湯ニ茴香ヲ加ヨ閃挫ノ腰痛ハ通氣五積
散ニ桃仁牽牛ヲ加ヨ脉瀦ナラハ瘀血トス補陰丸ニ
桃仁紅花ヲ加ヨ痰ニ依テ痛ハ二陳湯 諸痛ハ火ニ
屬ス強ク寒藥ヲ用サシ温散ヲ加ヨ 諸痛ハ人參ヲ
用サシ氣ヲ補フ故也氣旺ノ通セサシハ痛ミイヨク甚シ
腰痛之治方

五積散寒濕腎經ヲヤフリ腰痛ニ俛仰セラシサルヲ治
ス 白芷 茯苓 芍藥 乾薑 厚朴各二 陳皮
枳殼各二 桔梗 當歸 麻黃 半夏各一
川芎 肉桂各二 甘草一分 蒼朮一分 右剉煎之用
立安丸五種ノコレ痛ヲ治シ腎ヲ補イコレ脚ヲスクナカ

二ス 破故紙 木瓜 杜仲 牛膝 續斷各二 萆薢一分
右末ノ鹽湯ニテ送下ス

蒼朮湯濕熱ニ中リ腰腿疼痛スルヲ治蒼朮九錢去 止痛
柴胡二錢 行經 防風一錢半 去濕逐風 黃柏一錢半 除濕止痛
右剉煎之用ヘシ

大黃湯打撲ノ腰痛瘀血痛テ甚シキヲ治ス

大黃 生薑各切如豆 大各半兩
右同炒リ黃色ニシ水一升ニ浸シ一宿ノ曉カヌツ去
リ頰一服ス夜明テ烏ノ肝ノ如ナル物ヲ下メ愈ユ
獨活寄生湯風腎經ノヤフリ痛ミサクカ加ク又治仕
スノ脚膝偏一カレ冷痺緩弱ナルヲ治ス及ヒ婦人新
産之腰脚ヒキツリ痛ムニヨシ風ヲ去リ血ヲ治ス

獨活 桑寄生若無之續斷 白芍藥 細辛 桂心 川芎

防風 人參 當歸 秦艽 牛膝 茯苓 杜仲

炒甘草 右證ニシタカヒ加減シ判煎ノ空心ニ用

慘濕湯寒濕ニ中リ身ヲモク水中ニ坐スル如ク小便

澁大便泄スル 治ス 蒼朮 陳皮 丁子各一分

茯苓 乾薑各一分 甘草二分 右判煎ノ食前ニ温服ス

通氣散氣宣流セス腰脇ヲ打撲之氣ト、コホルヲ治ス

茴香 木香各一分 甘草 穿山甲炒各一分 白牽牛炒

延胡素各半 陳皮一分 右末ノ酒ニテ用

脇痛門

肝肺左右ノ辨 肝血左ノ脇ニ畜工テ塊ヲナシ痛△者ヲ肝ノ積ナセ

肺氣石ノ脇ニ鬱ノ痞硬ノ咳喘スル者ハ肺積トナス

脇痛之治方

枳殼散脇痛ノ物アツテサスカ如クナルヲ治ス是氣也

枳殼二分 甘草一分 右細末ノ葱白湯ニ調下ス

枳實散兩脇甘之痛△ヲ治ス 枳實炒二分 白芍藥

川芎 人參各半 右末薑棗ヲ入煎ノ空心ニ用

加味柴胡湯傷寒ノ脇痛ヲ治ス 柴胡 黃芩各二分

人參 半夏各一分 牡蠣 枳殼炒 甘草各一分

右判煎之食遠ニ服ス

溺濁門

劉河間力説 赤白濁ト白濁トハ皆熱也清水ヲ湯ト

ナス時ハ白之又夏ハ土カワイテ水濁リ冬ハ土カタク

ノ水スム此ノ理尤モ當シリ赤濁ハ腎虛ノ膀胱ニ火盛ナル故ニ濁赤ク溢リ此故ニ濁トナレ是ハ腎水虛ノ外運ノ火ヲ制セサルニ依テ自ラ濁トナル

赤白ノ本赤濁ノ者ハ血ニ屬ス心虛ノ熱ス思慮ニ依テ得タリ白濁ノ者ハ氣ニ屬ス腎虛ノ寒ハ房勞ノ得タリ脾濁ノ本思慮過テ脾ヲ傷リ脾ニ虛熱ヲ生シテ土邪水ヲ侵ス故ニ尿リニコル夏ハ土乾テ水ニコルノ類也治例熱アラハ滑石黃蘗ノ類ヲ用ヘシ胃弱キ者ハ人參ヲ用柴胡升麻ニテ胃ノ氣ヲ升セヨ肥タル人ノ尿濁ハ多クハ痰也ニ陳湯ニテ濕ヲサシ赤キ者ハ心ヲ涼フスヘシ白芍藥之類シロキ者ハ下元ヲ補ヘ益智菖蒲ノ類心虛ニ熱濁ハ麥門冬蓮肉地黃牛膝

茯神遠志之類 思慮ニ脾ヤフシ精ヲ攝セスノヒヤク濁止ハ厚朴ノ類 過房ニ腎虛ニ尿シテクシロク濁ハ益智面香韭子地黃白石藥龍骨ノ類 尿濁之治方

清心飲心中ニ客熱アリ煩燥ノ丁カク濁ルヲ治ス 白茯苓 蓮肉各一分 益智 遠志 麥門冬 人參 石菖 車前子 白朮 澤瀉 甘草各一分 古剉燈心ヲ入煎シ食前ニ用

蓮肉散小便シロク濁リ夢中ニ精ノ漏ヌニヨシ 蓮肉 益智 龍骨各等分 右細末ノ米飲ニテ用 通靈散心氣不足ニ小便赤ク滑カニシ或ハ白濁ヲ治ス 茯苓 益智 白朮各等分 右細末ノ白湯ニテ調下ス

澤瀉散心經暑ニアテラシ小便赤ク濁ルヲ治ス

人參 白朮 赤茯苓 香薷 澤瀉 猪苓 蓮肉

麥門冬各等分 右剉煎ノ服ス

茯苓丸思慮過テ心腎虛損ニ溺ニ餘瀝アツテシロク

濁川夢中ニ頻ニ漏スヲ治ス 兔絲子四兩 蓮肉兩

右細末ノ酒ノ糊ニテ丸ニ鹽湯ニテ下ス

半夏丸白濁ヲ治シ神効アリ 半夏温 猪苓分

右末ノ丸ニ用若シ肝脾弦ナラハ青黛分ヲ加シ

蓮子六一湯心熱シアカク濁ルヲ治ス 石蓮肉兩

甘草分 右末ノ空心ニ燈心湯ニテ調下ス

遠志丸小便赤ク濁ルヲ治シ神變奇特ナリ

遠志半斤 甘草半斤 水ニ浸シ心ヲ去ル 益智各二

右抹ノ麩ノ糊ニテ丸ノ臨卧ニ棗湯ニテ用ヘシ

遺溺門

内經ニ曰膀胱利セサレハ癰ヲナシ約セサレハ遺ヲナスト

又曰下焦ニ血ヲタクワ工虚勞ニ内損スレハ小便自

ヲ遺ノ知ラス下焦虚寒ニ水液ヲ温制スルコトアタワ

サレハ小便タエス流シイッ

仲景カ脉法ニ曰ク寸口脉微ニシテ瀉微ハ胃ノ氣不足

ノユカス瀉ハ榮血ノ不足也榮衛調ラサレハ三焦通

シテ其部クニ歸スル所ナシ上焦歸セサレハヲクニ出ス

中焦歸セサレハ穀ヲ消シ飲ヲ引クナシ下焦ニ歸セ

サレハ遺尿失禁スル也治法ハ元氣ヲ補ヒ心ヲ涼シ

房事ヲ遠クスヘシ

治例 内虚之自汗スルニ秘元丹韭子凡ノ類 内
虚ニ濕熱アラハ六味地黄丸八味圓ノ類 老人ハ
八味圓宜ニ去リナカラ澤瀉ヲ除テ

凡遺尿ハ小腸膀胱ノ陽氣衰脱スル故也 龍骨地
黄益智鹿茸辰砂ノ類是ノ丸ノ食前ニ鹽湯ニテ
用ヘ之若シ虚熱ノ胃イキレハ黄芩地黄白芍藥ノ
類ヲ麤抹ノ煎ニ食後ニ用ヨ

遺尿之治方

秘元丹内虚寒之冷氣心ヲ世メ脹滿泄瀉汗イテ遺尿
シ足ヒユルヲ治ス 龍骨三兩 訶子十兩 縮砂兩 辰砂一分
右細末ニ糯米ノノルニテ丸ニ用葱茶ツイム
家韭子丸下元虚冷シ小便タラス或白濁ヲ治ニ元氣

補ニ飲食ヲ進ム 家韭六兩 鹿茸四兩 菝葜 牛膝

地黄 當歸各二兩 巴戟 兔絲子各一兩 杜仲 石解

桂心 乾薑各二兩

右末ノ酒ノ糊ニテ丸ニ鹽湯ニテ用ヘシ

益智丸遺尿ニ及ヒ小便多ク或ハ絶ニセサルヲ治ス

益智兩 龍骨四兩 牡蠣半斤 川烏頭去皮半兩 炒黃色

右細末ノ酒ノ糊ニテ丸ニ空心ニ葶藶湯ニテ用ヘシ

阿膠丹小便遺失スルヲ治フ

阿膠炒 牡蠣 鹿茸炙 桑螵蛸酒炙

右等分末ノ玉子米ノ糊ニテ丸ニ空心ニ鹽湯ニテ用

一方ニ 桑螵蛸炙 白龍骨各等分

右末ノ每服二錢匕空心ニ鹽湯ニテ調下ス

